

エンドユーザーが要求する床

モノリスコーポレーション株式会社／GM 亀井昭利



日本床施工技術研究
協議会 会員

年々、画期的な物流倉庫が誕生している。意匠性に富み、働く人の目線で設計された内外装は、物を置くだけの倉庫とは全く別の建物になってきた。大面積を占める作業床の仕上がりは、物流倉庫の価値を大きく左右する要因となっている。

エンドユーザーが要求する床とは

1. 耐久年数が高くメンテナンスが容易な床
2. 粉塵が出ず清掃管理しやすい床
3. 平滑で不陸のない床

4. ひび割れ・クラックが少ない床

5. 美観に優れている床

これらが、お客様や元請けからの要望である。上記の内容を実現するためには、配合計画や打設計画、養生・表面強化、美装と綿密な準備が必要だ。

KL(光沢・レイヤー)工法の最終仕上げはプラスチック鏡

要求品質を満足するには作業手順が一番大切である。品質の均一化のために使用機械は同一メーカーで揃え、仕上がりを安定化させた。しかしながらコンクリート打設時の気温や湿度、天気が違う条件では品質を統一することは難しい。最終仕上げにプラスチック鏡を使用することで過剰な鏡面仕上がりや押え不足を防ぎ、良い結果を得ることができた。

プラスチック鏡使用の効果

鏡面仕上げはコンクリート配合によって表面

にふくれや剥がれが出現する場合がある。実験によりプラスチック鏡に角度をつけることで解消できた。また、フェロコンにも同等の効果が得られた。

おわりに

生コンクリート(柔らかい)により、1日で1枚岩のような床をつくる(モノリシック工法)技術は大変画期的なものである。工期短縮やコスト削減にも大きく貢献している工法である。さらなる機械化やAI化が進むなか、良いものは積極的に取り入れ、エンドユーザーに満足していただける床を提供したい。

問い合わせ先

モノリスコーポレーション株式会社

TEL.042-851-4077

<http://www.monolith-c.co.jp>



KL工法による床仕上がり



KL工法 床版仕上げ試験



モノリスプラスチック鏡



フェロコン仕上げ(写真上がプラスチック鏡仕上げ、写真下が金鏡仕上げ)